



## 連携ばやり

### 合併 共同 合同 協同 協働 連携

- 農業協同組合
- 企業の合併・連携
- 産学共同研究
- 産官学連携
- 市内連携
- 地域連携
- 市町村合併
- 東アジア共同体
- 大学と予備校の連携
- 高大連携
- 小中高連携
- 専門教育と一般教育の連携
- 大学コンソーシアム（共同事業体）

3

## なぜ，いま連携か？

情報化による社会変革  
個性化社会，地方分権，地域主権・・・

個人，組織，地域の自立（自律）が求められる  
格差の発生（貧困，倒産企業，債務自治体・・・）

連携

- 格差の是正と自律社会の構築
- 自由に共同体（コミュニティ）を形成
- 共同体夫々がもつ強みを共有
- 連携を支援するインターネット

4

## 連携すれば強くなるか

- 成否の明暗がわかる
- 成功しても温度差が大きい
- 成功の鍵は，連携の場によって個々に違う

5

## 協働の時代を生きる

- 連携の役割と課題 -

1. 大学コンソーシアム（函館会議報告より）
2. 福井県大学等連携事業（フレックス）
3. 行政と市民のパートナーシップ（FEPS）

# 1. 大学コンソーシアム

## 第6回全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラムより



北海道教育大学  
函館校

参加者 **350名**

9月12日（土）  
～ 13日（日）



## 大学コンソーシアム支援について

文科省高等教育局大学振興課報告

### 背景と課題

- 地域における人材育成，地域の生涯学習の拠点，地域課題対応等の多様な需要に，個々の大学に限られた教育研究資源の中で応えることは困難な状況になりつつある
- 地域活性化において，地域で活躍する人材の養成と地元定着が有用な課題であり，地方の大学が団結して地域の大学全体の魅力を高めていくことが必要不可欠となっている
- 大学の機能別分化を踏まえた教育研究資源の有効活用を推進する必要

9

## 事業内容

- 大学教育充実のため，大学間の戦略的な連携取組を支援
- 地域社会における喫緊の課題に対して，大学連合体により地域に役立つ人材を育成
- 大学教育全体の高度化を図るため，複数大学による質保証の取組や人的・物的資源を共同利用する取組を推進

10

## 支援プログラムで期待される効果

### 大学

- 教育研究設備の共同利用による**効率的な教育研究活動**を実施
- 大学間相互の教育の**質保証**を推進（カリキュラム・共通テキスト・教材開発，相互認証など）

### 学生

- 多様な教育研究を受ける**機会が拡大**
- 学生間の**交流・移動が促進**，互いに刺激をうけるなど
- 地域の大学が一体となった**学生支援や就職支援**の充実

### 地域

- 自治体や企業との連携による**地域の活性化**
- 地域課題に対応した教育研究プロジェクトの展開による**地域の発展**
- 生涯学習など地域**住民の知的活動**を推進

11

## 連携を成功させるためのポイント

- **実施体制の強化**
  - **学長のリーダーシップ**，**教職員同士**の絆，**点から面へ**のつながり
- **積極的な展開**
  - **目標**，**計画・実施**，**改善点の共有**
  - 大学ごとの**役割や責任を分担**
  - 各大学の**個性・特色の明確化**
- **連携の継続性**（ニーズの把握）
  - 自治体，企業，住民の**参画**
  - 自己**点検・評価**
  - **外部**からの定期的な**評価**

12

## 事業終了後の継続のためには

- 地域との連携，活動のPRが大事
- 自分の力をもつこと，周りの自治体や企業を引き込むこと

13

## 全国大会にでて分かったこと

- コンソーシアムは数あれ成功しているところと，そうでないところの温度差が大きい
- 成功しているところは...
  - 連携する機関がトップダウンで目的を明確化
  - 自発性を重んじながらボトムアップで活動

14

## 成功者の中身を仔細にみると

- 行政主導が行き過ぎない
  - 行政的成果主義に走らない
- 大学連携がうまくいっているケース
  - 主管大学と連携大学の分業体制
  - 地域との連携を進めている
- 行政，大学，地域，企業，NPOの自主性を生かし，自発的に生み出される活動を大事にしている

15

## 関心をもったコンソーシアム

- 行政を越えた さがまち
- NPO法人 やまなし
- 地域再生にかけている 函館
- 進学率上昇，高等教育を武器に 秋田

最も素晴らしく，感動したのは・・・

16

さがまちコンソーシアム  
相模原・町田大学地域コンソーシアム

さがまちパンパフ  
j:comにて配信  
さがまちVOX6  
市民大学

お知らせ  
09年08月 市民大学 後期講義の案内が始まりました  
09年08月 特別講座「インコとエンザのABC」受講者募集

イベント情報 地域の話題  
玉川大学公開講座  
公開シンポジウム「この時代を企業・地域はどう生き抜くか」  
オープンキャンパス  
「第九」演奏会のご案内  
オルガンコンサート・シリーズ 第2回コンサートのご  
相模原大学パフォーミングアーツプログラム＜OPAF17  
2009動物愛護デー in JAF&JVF

F-LECCS  
FLEXIBLE LEARNING COMMUNITY COOPERATION

## 2. 福井県大学等連携事業 Fレックス

F-LECCS  
FLEXIBLE LEARNING COMMUNITY COOPERATION

本講演資料のなかのF-leccs関連資料は、同プロジェクト会長 山川修とコミュニティ推進員 澤崎敏文作成の資料を引用しています。

 **F-LECCS**  
FUKUI LEARNING COMMUNITY CONSORTIUM



## Fレックスとは

- 福井内の6大学・高専が「学習コミュニティ」をキーワードに連携
- 文部科学省戦略的大学連携支援事業に採択
- F-LECCS (Fukui LEarning Community ConSortium)  
→福井恐竜 Tレックスからのもじり

 恐竜を背負った  
**まな坊**

19

 **F-LECCS**  
FUKUI LEARNING COMMUNITY CONSORTIUM



福井高専



福井工業大学



福井県立大学



仁愛女子短大



敦賀短大



仁愛大学



20




## Fレックスの目標

- 継続的な大学連携基盤  
(人のネットワークおよびICTシステム)の構築
- 学習コミュニティによる大学間および**地域コミュニティの活性化**
- 大学間連携による大学教育の改善と改革の推進  
(次世代の大学のあり方への提言作り)

21




## Fレックス概念図

仮想的総合大学環境

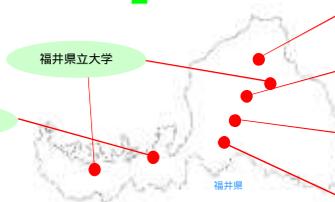


地域住民  
学生  
教員  
NPO  
卒業生  
学習コミュニティ  
事務員  
企業

↑ LMS(授業支援)  
SNS(コミュニティ支援)  
eポートフォリオ(学習者支援)

経済学部  
生物資源学部  
看護福祉学部  
海洋生物資源学部

敦賀短期大学  
地域総合科学科  
心理教育フィールド  
歴史文化遺産フィールド



福井県

仁愛女子短期大学  
生活科学科  
幼児教育科  
音楽学科

福井工業大学  
工学部  
経営情報学科  
宇宙通信工学科

福井工業高等専門学校  
機械工学科  
電子情報工学科  
物質工学科

仁愛大学  
人間学部  
人間生活学部

F-LECCS

22

**F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY CONNECTION

つながる

イノベーションはこの過程の中で起こる

学ぶ

交わる

23

**F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY CONNECTION

### なぜ学習コミュニティか ~教育心理学の変遷~

**(1) 行動主義（20世紀初頭～）**

- ・人間の学習行為を「行動」から見ていこうという考え方
- ・刺激(S)-反応(R)という図式によって内的・心的状態に依拠せずとも科学的に心理を研究できると考える
- ・学習教材（コンテンツ）に着目

**行動主義の学習観**

刺激  
反応

**(2) 認知主義（1960年代後半～）**

- ・心（認知）のモデルをつくり、情報処理の観点から認知活動を研究する分野
- ・ここで認知とは、知覚・理解・思考・学習・記憶・コミュニケーションなど広範囲におよぶ
- ・学習行動（アクティビティ）に着目

**認知主義の学習観**

認知モデル

**(3) 状況主義（1990年代～）**

- ・学習が他人と切り離された個人の中で起こるのではなく、環境の中でどのように振る舞い、どういふ相互作用を起こすかという場面で学習が生まれると考える
- ・学習グループ（コミュニティ）に着目

**状況主義の学習観**

**F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY CONNECTION

24

**F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY CONNECTION

## テレビ会議システム



**Polycom**や**Nice to meet you** といったテレビ会議システムで、距離の壁を越えてコミュニケーションが可能に！





25

**F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY CONNECTION

## ICTによる支援システム



**ポータル**

**LMS**

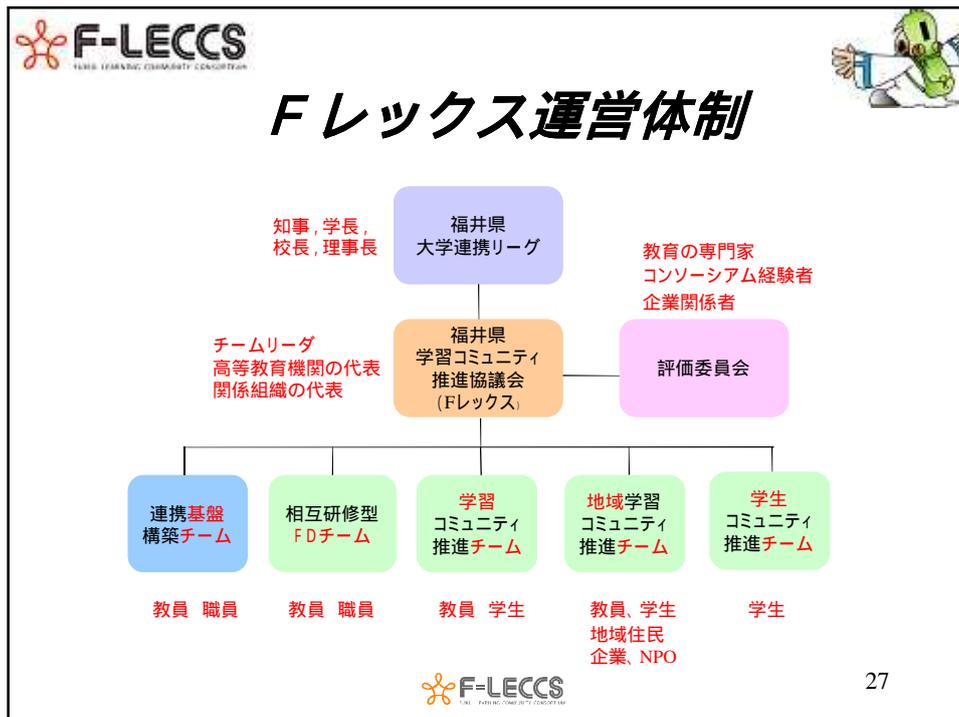
**SNS**

**eポートフォリオ**






26







 **F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY COOPERATION



## 毎月の研究会 テレビ会議システム

PolycomやNice to meet you といったテレビ会議システムで、距離の壁を越えてコミュニケーションが可能に！



33

 **F-LECCS**  
FIVE LEARNING COMMUNITY COOPERATION



## 地域学習コミュニティ形成事業

- ICTを利用するコミュニティの分類
  1. ICTを主に使う主体はだれ？
  2. ICTを利用する目的は？
    - 出会い（共同体としての利用）
    - 連絡や会議（機能体としての利用）

34



**「地域が学ぶ」：大学等連携公開講座**

- 6大学の公開講座を閲覧・検索
- 教員と受講者の事前事後交流
- 講座の口コミ情報

---

<p><b>地域と学ぶ：</b> <b>日本語パソコン学習会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 福井在住の外国人と学生の交流</li> <li>• 異文化学習コミュニティの形成</li> </ul>	<p><b>地域で学ぶ：</b> <b>地域の活動に参画</b></p> <p>既存の地域活動に学生が参画する機会を自然に増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• エコカレッジ福井</li> <li>• まちづくり協議会</li> </ul>
---	---

36



## 地域連携にICTをどう利用するか？

- 2つの活動の場
  1. 仮想の場
  2. 現実の場
- 仮想空間にできる2つのコミュニティ\*
  1. プロジェクト実施に便利な**機能体**を形成
  2. テーマ別コミュニティに人が集い**共同体**を形成

\*堺屋太一「組織の盛衰」<地域SNSとまちづくり:季刊 まちづくり24>  
37



## 3種類のコミュニティ

1. 共同体
  - テーマに関心のある人が集まる
  - エコひろば, ウミガメ研究会など
2. 機能体
  - 現実の場で動いている委員会やプロジェクト
  - 運営委員会, プロジェクトなど
3. 両者の混合
  - 一般メンバ(共同体) + 運営委員会(機能体)

38

## 3番目の好例（地域SNS）

住民主役の地域づくりの切り札！  
地域SNS「元気村」はこう創る！



地域SNS・同窓会SNS e.t.c.



### 日経地域情報化大賞2008

OpenSNP地域情報プラットホーム  
連携プロジェクト

ひよこむ(兵庫県姫路市)を核に

- ・まつえSNS (島根県松江市)
  - ・ハマっち！(神奈川県横浜市)
  - ・モリオネット(岩手県盛岡市)
  - ・かちねっと(東京都葛飾区)
- 等20以上の地域SNSの連携

39



## 外国人のための パソコン講習会

- ・ 地域チームが主体となり、県国際交流協会と共催で実施
- ・ 6大学の各地で学生と外国人の交流の場を広げていく
- ・ SNSが交流委員会の会議運営を支援



40

**F-レックス 公開講座の一元化**

「レックスに夢中して ぼくと一緒に学ぼう！」

トップページ | F-レックスとは | 各チームの活動 | 活用事例 | 参加費紹介 | リンク集 | お問い合わせ | F-レックスに参加する

**各チームの活動**

- Fレックス
- 学習チーム
- FDチーム
- 地域ゲーム
- 若葉チーム
- 学生チーム
- 各大学での活動
- SNSトピックス

**地域チーム**

21世紀は地域の時代、地域のなかで交わり学び活動しよう！！

大学と地域の人達が一緒に学ぶ場をつくる。それが地域学習コミュニティの目指すところです。

これまでも、大学の公開講座が地域の方に学ぶ場を創出していますが、Fレックスでは、県内大学・両隣の公開講座をネットで一覧できる便利なサイトやSNSをつくり、受講したい講座探しや学習者同士の交流を支援します。

また、現業に活動している地域の団体に、交流と学習の場を提供します。その活動に、学生や教職員が参加することも検討しています。大学と地域の人達の学びの交流が、福井全県に広がればいいですね。

**検索**

検索

**最新SNSレポートフォリオ ログイン**

- ・ SNS検索サポートログイン
- ・ SNSコミュニティサポートログイン
- ・ eポートフォリオ学習者サポートログイン

**福井県立大学等公開講座**

**福井県立大学等公開講座一覧**

- ・ 福井県立大学等公開講座

**カレンダー**

2009

10

日 月 火 水 木 金 土

27 28 29 30 31

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

**新着情報**

福井県立大学等公開講座

コンファーマー

41

**F-LECCS**

**公開講座検索一覧システム画面**

一覧表示 | 個別表示 | 検索文字

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ... 26 (次へ)

タイトル(クリックで詳細)	大学名	分野	開催年月日	開始時間	授業回数	受講対象
Communicating in English (1) 中級	福井県立大学	語学	2009年5月15日(金)	19時00分	5	一般
Communicating in Italian (1) 中級	福井県立大学	語学	2009年5月12日(火)	19時00分	5	一般
「歌集抄」を読む その8	仁愛大学	教養(人文)	2009年9月8日(火)	18時30分	7	一般
『ホテル』の生活環境は？	福井工業大学	環境	2009年6月13日(土)	13時	1	一般
『平家物語』の成立過程～構成と分析～	福井県立大学	教養(人文)	2009年6月11日(木)	18時30分	4	一般

ページ: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ... 26 (次へ)

1ページあたりのエントリ数: 5 | 検索: | 並び替え: タイトル | 昇順 | 検索オプション | 結果を表示する

42

## 選択した講座の中身を一覧

ページ (前へ) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ...130 (次へ)

タイトル:	『欽異抄』を讀む その3		
講師名:	豊嶋 秀邦	講師職名:	教授
大学名:	仁愛大学	開催場所:	仁愛大学 日109教室
分野:	教養(人文)	受講対象:	一般
授業回数:	7	受講料:	無料
開催年月日:	2009年 9月 8日(火)	開始時間:	18時30分
申し込み:	必要	授業時間(分):	120
備考:	教材費として500円必要。昨年度購入した方は無料。		
概要:	<p>混乱を極めた中世初期の時代を無冠の念仏者として力強く生き切った親鸞の信仰が、今も活き活きと伝わってくる『欽異抄』の世界をひと解きます。今年度は最終回として第6章から第10章まで。</p> <p>全7回開講(9/8, 9/15, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27)</p> <p>教材費として500円必要。ただし昨年度購入した方は無料。</p>		

この講座に対するコメント(感想やご意見)をお寄せください。  
(コメントを投稿するにはログインが必要です。)  
[コメントを追加する](#)

ページ (前へ) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ...130 (次へ)

43

## 選択した講座の中身を一覧

ページ (前へ) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 ...130 (次へ)

タイトル:	『欽異抄』を讀む その3		
講師名:	豊嶋 秀邦	講師職名:	教授
大学名:	仁愛大学	開催場所:	仁愛大学 日109教室
分野:	教養(人文)	受講対象:	一般
授業回数:	7	受講料:	無料
開催年月日:	2009年 9月 8日(火)	開始時間:	18時30分
申し込み:	必要	授業時間(分):	120
備考:	教材費として500円必要。昨年度購入した方は無料。		
概要:	<p>混乱を極めた中世初期の時代を無冠の念仏者として力強く生き切った親鸞の信仰が、今も活き活きと伝わってくる『欽異抄』の世界をひと解きます。今年度は最終回として第6章から第10章まで。</p> <p>全7回開講(9/8, 9/15, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27)</p> <p>教材費として500円必要。ただし昨年度購入した方は無料。</p>		

この講座に対するコメント(感想やご意見)をお寄せください。  
(コメントを投稿するにはログインが必要です。)  
[コメント](#)

ページ (前へ) 1 2 3 4 5 6

コメント  
を記入  
できる

44



## エコカレッジ福井



**エコカレッジ福井 募集（五十名程度）**

本講座は、福井県内の様々な分野の専門家による、実践的な学びの場です。福井県立大学環境共生学部の協賛のもと、福井県立大学環境共生学部（福井市）にて開催いたします。

【開催期間】平成21年10月～平成22年3月

【募集人数】定員50名程度（先着順）

【応募資格】福井県内に在住する方、または福井県に在住する方（転居予定の方）

【学費】学費20,000円（税込）

【申込方法】この講座の募集について詳細は、福井県立大学環境共生学部のホームページをご覧ください。

【申込時期】平成21年10月～平成22年3月

【お問い合わせ】福井県立大学環境共生学部 環境共生学部長 菊沢正裕 先生

〒910-8502 福井県福井市南町1-1-1 福井県立大学環境共生学部 環境共生学部長 菊沢正裕 先生

TEL: 0776-20-5388 FAX: 0776-20-5391

ホームページ: <http://www.ecollege.fukui.ac.jp/>

**市民環境大学 受講生募集！**

**エコカレッジ福井**

学びが人を育て、社会を変える。持続可能な社会をつくるためのひとづくり。

福井県では様々な分野の専門家による、実践的な学びの場です。

**市民環境大学の概要**

【第1期】平成21年10月15日（日）10時～12時

【第2期】平成21年11月25日（日）10時～12時

【第3期】平成21年12月25日（日）10時～12時

【第4期】平成22年1月25日（日）10時～12時

【第5期】平成22年2月25日（日）10時～12時

【第6期】平成22年3月25日（日）10時～12時

【お問い合わせ】福井県立大学環境共生学部 環境共生学部長 菊沢正裕 先生

〒910-8502 福井県福井市南町1-1-1 福井県立大学環境共生学部 環境共生学部長 菊沢正裕 先生

TEL: 0776-20-5388 FAX: 0776-20-5391

ホームページ: <http://www.ecollege.fukui.ac.jp/>

コミュニティグループ  
グループを追加してコミュニティ一覧を見やすくしよう！ [グループ管理]

コミュニティ参加数は22件です。 [前のページ] [次のページ]


### 運営委員会の様子



SNSに  
エコカレ  
ジ運営委  
員会を開設

49

**9 地域チームの取り組みのひとつであるエコカレッジ福井2009**  
地域チーム;エコカレッジ福井2009

- 2009.4.26入学式 1/4 あいさつ
- 2009.4.26入学式 2/4 オリエンテーション
- 2009.4.26入学式 3/4 講義「福井市環境基本計画」について
- 2009.4.26入学式 4/4 Bコース ガイダンス
- 2009.5.10 植物に囲まれて健康になろう！(1/2)
- 2009.5.10 植物に囲まれて健康になろう！(2/2)
- 植物に囲まれて健康になろう！プレゼン資料
- 2009.5.31福井市狐川流域の自然 1/2
- 2009.5.31福井市狐川流域の自然 2/2
- 2009.6.15国際交流会館でのパソコン学習会
- 2009.6.21里山の自然
- 2009.10.04 環境に優しい有機農業
- 2009.10.18 Bコース 土のはたらき Part2

**最近の活動**

2009年 10月 28日(水曜日) 14:36  
以来の活動  
[最近の活動詳細...](#)

**コース更新内容:**

リソース が追加されました:  
2009.10.04 環境に優しい有機農業

リソース が追加されました:  
2009.10.18 Bコース 土のはたらき Part2

50



## 連携の難しさ，解決の方略

- 利用の拡大の難しさ
  - コアメンバー（20%）から次の広がりに壁
  - ICT利用のバリア
  - 機能体と共同体の使い分け
- 解決の方略：参加したくなる仕組み
  - SNSと連動した魅力的なLMSコンテンツ
  - 単位互換制度，他大学の授業，共同研究
  - 共通公開講座システム，双方向の仕組み
- 学生と地域（団塊世代，企業）がキー

51

## 3. 行政と市民のパートナーシップ

- 福井市環境パートナーシップ会議
- 環境基本計画（2001.3策定）を行政と市民が連携して推進するための組織
- 2001.5設立

52

## 福井市環境パートナーシップ会議



Fukui Ecological Partnership federation

<http://www.eco-fukui.net/>



- 8年間の活動はホームページをご覧ください。
- 活動を通して行政と市民の連携をどう成長させたかを次にまとめます。

53

## 8年かかわって分かった 連携を成功させるポイント



- メンバー何人いても、**コアメンバー**は10名程度
  - 全数を少な目に、団体代表より本人の活動歴
  - NPO代表や公民館代表を支援しながら連携する
- **庁内連携**はとれていない
  - 横断的な環境課を市民会議から支援
  - ICTやマスメディアを活用すること
- **市民は「なぜ」より結果(実践)、大学は結果より「なぜ」を重視**
  - この違いを認識すること

54



## 8年でできたこと

- ISO認定(家庭版, 学校版)
- 環境教育セミナーの実施→エコカレッジ創設
- 環境基本計画の改訂時の骨子をパートナーシップ会議だけでつくること
- 福井市環境展を企画・主催すること
- パートナシップ会議が公民館, NPO, 住民のなかに浸透すること

55



## 福井市環境展（新聞報道）

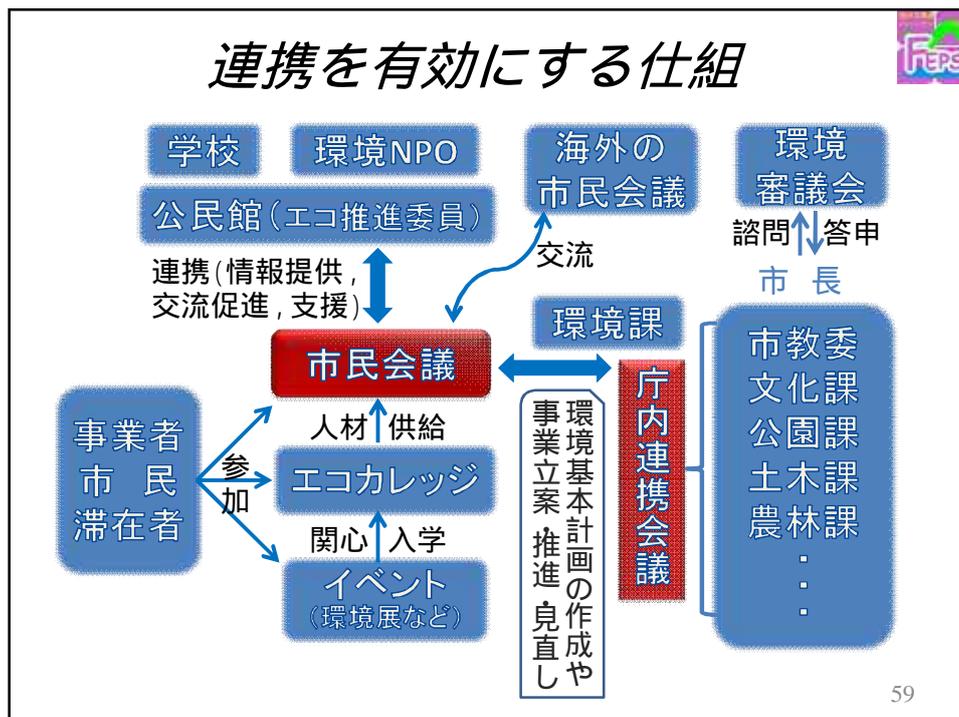


56



## 早期実現の課題

- 市民会議と行政が同じ立場で環境施策を推進する体制を確立すること。
- 重要な環境問題の解決や新規事業の提案を行政と市民会議が同等にすすめること
- NPOの支援や公民館の復活を図ること
- 上記に必要な人材をエコカレッジから供給すること



## まとめ（連携の役割）

- **社会背景**
  - 情報化が**社会変革**をもたらし，個を中心とする（個性化）社会をもたらした
  - その結果，**格差社会**（貧困，倒産企業，債務自治体...）が生まれた
- **連携の役割**
  - **互いに学び**，異なる文化や長所を共有する
  - **自立（自律）して主体的に物事を進めるコミュニティを，新たに形成する**

## まとめ（課題）

- **異業種（行政，大学，地域，企業，NPO）の連携**
  - それぞれの文化を理解する
  - それぞれの自主性を生かし，自発的に生み出される活動を大事にする
  - 組織体制の見直しを怠らない
- **場を提供するネットの活用**
  - 機能体，共同体，その両者の違いを認識する
  - 時間をかけてノウハウをつかむ
  - コアメンバの確保，その結びつきを重視する
  - コアメンバーから拡大への壁を乗り越える

61